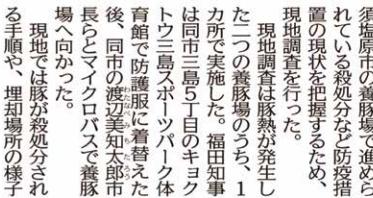


# 豚熱が発生 栃木県建設業協会[那須支部]が出動

出典：下野新聞社

揭載日：2021年4月27日



## 知事 豚熱発生の農場調査 防疫措置の現状を把握

ほどを約1時間確認した。

にし、従事者の苦心に心を痛めた」と、県外から派遣された獸医師や、県立農業試験場の会員たちをねぎらった。調査後、福田知事は作業に当たる県職員らの心身の万7千頭のうち、52・4%

た員

(C) 下野新聞社 無断複製転載禁止。

員は延べ6290人とな  
た。  
(吉田隆則)

揭載日：2021年4月24日



建設業など民間も尽力

## 発生確認 1週間県内豚熱対応

命に直面、心的負荷強く

豚熱（CSF）の発生が確認され、24日で一週間、県建設業協会など民間業者も協力し、力を尽す。「感覚を胸に作業場に当たるが、豚の命を直視せざるを得ない過酷な現場である。作業する人たちは、6時に論述した感がはじめ」（6面に論述）。豚の埋設場を担当した県建設業協会那須支部は、23日までに、延べ約450人を6時間交代制で勤務した。養豚場敷地内に重機で深溝を掘り、石灰と袋に入つた豚を埋める。溝は22日ま

でで10列、長さ計450  
にも及んだ。付近に腐葉  
ただよい。豚の悲鳴も耳  
するといふ。

が、県と防疫協定を結んで以来、支部初の実動だ。これはどの規模とは」と右大臣官房長官(57)は、「これまで、支部長(56)は、想定を大きく上回った。支部は作業員向けメンタルケアの窓口の設置を検討している。」  
一方、県ベストコントロール協会は養豚場から離れた3地点で一日約10人が毎日平均50台の車を消毒している。齋藤英樹副会長(57)は「考え方は新型コロナウイルスと同じ。まん延防止措置に努めたい」と気力を引き継ぎ始めた。  
このほか県畜産業協会、や県バス協会も車の誘導や職員輸送に当たり、県内農業協同組合なども作業に協力している。(齋藤英樹)



#### 埋却する豚の運搬作業（フォークリフト）



埋却作業

